

第4期小田原市地域福祉計画の策定に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	第4期小田原市地域福祉計画の策定
政策等の案の公表の日	令和4年8月8日（月）
意見提出期間	令和4年8月8日（月）から令和4年9月6日（火）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、福祉政策課窓口）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	7件（3人）
インターネット	3人
ファクシミリ	0人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	4件
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	2件
C	今後の検討のために参考とするもの	0件
D	その他（質問など）	1件

〈具体的な内容〉

(1) ヤングケアラーに関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	ヤングケアラーの支援について具体的な計画策定や実施の強化をすべき。	B	ヤングケアラーの支援について、本計画においてもその取組の推進を掲げており、個別計画である「小田原市子ども・子育て支援事業計画」において具体的に支援内容を検討するとともに、具体的な施策を実施してまいりたいと考えます。

(2) 自治会に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	自治会加入率を上げることを目標に掲げ、施策を検討実施すべき。	B	地域活動や福祉活動を推進するためには、自治会の役割は大きく、それを構成する自治会に住民の方が加入していただけるよう、市として引き続き取り組んでまいりたいと考えます。

(3) 再犯防止に係る表記に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	P31「（１）再犯の現状と必要性・重要性」は「（１）再犯の現状と再犯防止の必要性・重要性」が適切である。	A	意見のとおり修正しました。
2	P32「小田原警察署管轄における検挙人数の推移」のグラフのデータ提供元に疑義がある。	D	提供元は適切です。
3	P32 下から３行目「罪を償った出所者を」は「刑務所出所者等」が適切である。	A	意見のとおり修正しました。
4	P33 13行目の「お互いに安全・安心」は「誰もが安全・安心」が適切である。	A	意見のとおり修正しました。
5	P57「更生保護法人報徳更生寮」の説明文中「犯罪等を犯した人の中で」は「罪を犯した人等の中で」が適切である。	A	意見のとおり修正し、他頁の同じ語句も同様に修正しました。

4 提出意見と関係なく変更した点

	政策案との差異	市の考え方
1	再犯防止計画に係る用字用語の整備	再犯防止計画に係る用字用語について、提出意見に準じて整備等を行いました。
2	デジタル化の推進に関して、記述の補記	デジタル技術を活用した住民同士の新たなつながりや社会参加のあり方について検討する旨の記述を加えました。
3	災害時における支援体制の整備に関し、記述の訂正及び補記	福祉避難所の受け入れ態勢の整備に関し、運営体制の整備を進める旨の記述に訂正しました。 また、要支援者の避難に当たっての体制整備に関し、要支援者の防災訓練への参加促進の記述を加えました。
4	用語解説の説明文の記述の一部訂正	用語解説の説明文の字句の訂正をしました。